

ユキノシタ科

70

紫陽花  
あじさい

生地産状 栽培 かん木、葉は広だ円形。五〜六月ごろ四弁花が集まって大きく球状をなし、色は白から青紫色、淡紅に変化し、観賞用。めしべが退化し果実はつけない。

効用 解熱に乾燥花を四グラム煎服する。



アジサイ

ユキノシタ

生地産状 陰地、溪流の岩にも自生するが、栽培もされる。常緑多年草。葉は多肉楕円形、表面に荒い毛があり、緑色、裏面は赤紫色。葉柄の根元から赤紫の糸のように細い走出枝を出し、先端に根を出し繁殖する。初夏に紅色、黄色の斑点のある白色五弁の花を開く。観賞用。

効用 小児のひきつけに葉を水洗いし、塩をふりかけもみ出した汁を含ませる。中耳炎にもみ汁をたらし込む。傷口、はれ物に葉をあぶって患部にはるか、葉汁をつける。痔も葉汁をつける。



ユキノシタ

凍傷・せき止めにもよい。葉はおひたし、天ぷらにして食す。

メギ科

72

ナンテン

生地産状 栽培 常緑灌木、実の赤いアカナンテン、葉はやや赤みを帯びている。実の白い白ナンテン、葉は緑色。葉は羽状複葉で、花は白色六弁で小さいのを多くつける。祝い木として使われる。



ナンテン

効用 せき止め・解熱・強壮・健胃に実を五グラム煎服、白い実が効果は高い。葉は下痢止め、温しつぷに用いると疝気の痛みが治る。防腐として赤飯に葉を載せておく。

クスノキ科

73

クスノキンクツギ

生地産状 山野、常緑高木、特異な芳香があり、これが害虫などに抵抗力を持ち、巨樹になるものが多い。神聖な木とされ神社境内に植えられ千年



クスノ木

にもなるがある。葉は長だ円形で先がとがり  
革質、五月ごろ黄白色の小花をつけ、十一月ご  
る黒色球形の小さな果実を結ぶ。

効用 歯痛に若葉を陰干しにしたものを煎服する。  
防虫剤<sup>しょうろう</sup>樟脳、防腐剤、防臭剤<sup>しょうろう</sup>片脳油の原料。

【モクレン科】

74 ビナンカズラ 別名 サネカズラ



ビナンカズラ

生地産状 山林中の日陰、常緑つる性かん木。葉は長

だ円形、なめらかで厚く、光沢がある。初夏、  
葉わきに淡黄色の花を開き。紅色球状の実を結  
ぶ。万葉集にサネカズラの名で出ている。昔は

樹液をビンツケや洗髪に使っている。

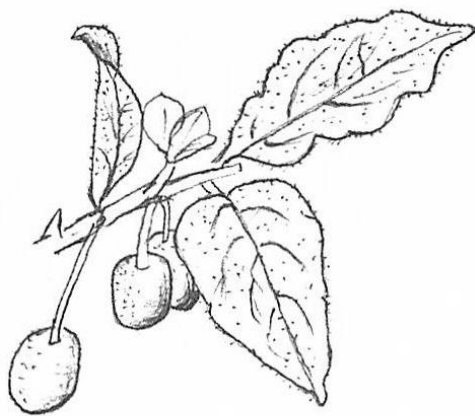
効用 鎮咳・強壮に乾燥した果実をどろどろになる  
まで煮て、ふきんでこしてから、砂糖を加え再  
び火にかけ、冷めないうちに服用する。

グミ科

75 グミ

生地産状 山野自生、常緑かん木。葉はだ円形、褐色  
または銀色の細毛がある。白色の花を開き、花  
後だ円形または球形の赤い実を結ぶ。実は食べ  
られる。材は強く農工具の柄とする。

効用 破傷風に根を煎服する。



グミ



ハコベ

作り歯槽のうろう・歯ぐきの出血にすりこむと  
効く。

【スベリヒユ科】

77 スベリヒユ

生地産状 荒地、路傍など日当たりのよい所に自生、  
一年草、枝が分かれて地面をはい、茎葉ともに  
多肉質で無毛、つやがあり、葉はへら状、紫紅  
色、夏、日のある間だけ黄色の小花が咲く。茎

【ナデシコ科】

76 ハコベ

生地産状 山野、路傍に自生。二年草で春から夏にか  
けてはびこる。葉は卵形で軟らかい。春白い小  
五弁花をつける。春の七草の一つ。食用になる。  
効用 催乳・浄血に全草を煎服する。葉汁を取り去  
り塩を少し混ぜ、よく乾燥させ緑のハコベ塩を

ツルナ科

78 ツルナハマジシヤク

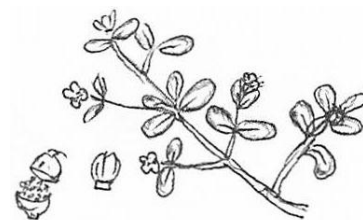
生地産状 海岸に自生、多肉質の多年草、葉は厚くもろく、三角卵状、葉わきに黄色の小さな花を開き、角のある実を結ぶ。若葉は食用。

効用 健胃・胃炎に乾燥した全草を煎服する。



ツルナ

効用 葉を乾燥し、おひたしなどにしているが多食すると下痢をする。  
腸チブス・淋疾・消熱解毒に全草を乾燥したのを煎服するとよい。疥癬・虫刺され・漆かぶれには葉汁をつける。



スベリヒユ

オシロイバナ科

79 オシロイバナオシロイバナク

生地産状 半野生、多年生草、約一メートルの高さ、



オシロイバナ



イノコズチ

生、花は五弁花で穂状に初秋咲く。果実はつぼみにとげがあり衣服などに付着する。

効用 利尿・強精・通経剤として乾燥した根を煎服する。淋疾・はれ物にも効く。

81 ケイトウ

生地産状 栽培、一年草、茎は赤味を帯び角ばっており、夏秋に赤または黄の小花をつけた花穂が鶏冠状をなす。

効用 赤痢には花を煎服する。

ヒユ科

80 イノコズチハシヤク

生地産状 野生、多年草、茎は四角で節高く、葉は対

茎のつけねはふくれている。初秋に数花ずつ集まり咲き、ろうと状の花形である。

効用 毒虫に刺されたとき、生葉の汁をつける。



ケイトウ

アカザ科

## 82 ホウレンソウ

生地産状 栽培 一年生または二年生草、葉は長三角形で裂けたのと丸みのものがある。夏、浅黄色の小花をつける。茎、根は赤みを帯び、葉とともに食用になる。

効用 分泌促進・造血剤として用いられる。



ギシギシ

タデ科

## 83 ギシギシ

生地産状 原野、路傍に自生、多年草、長大な黄色の根があり、葉はだ円形で波状、葉元は茎を抱いている。夏、こずえや葉わきに花穂を出し、淡緑色の小花がたくさんつく。果実は三菱形。

効用 フイリヤに根を煎用するほか、緩下剤とし



タデ

## 84 タデノタデ

一日五グラムを煎剤とする。根をわさびおろしでおろし、酢を加えて、はれ物・タムシ（クシャバ）・カイセン・シラクモに塗布する。若葉を煮て食べると、魚毒を消し、疳が治る。果実は血の道によい。

生地産状 原野に自生、多年草、茎には節があり、葉は単葉で互生、さや状で茎を囲み、酸味がある。



ツルドクダミ

## 85 ツルドクダミ

花序に小花を多くつける。

効用 虫刺されに葉をもんでつける。熱さまし、暑

気あたりに葉を煎服する。

生地産状 自生、多年生つる草茎は左右いずれにも巻く。葉は有柄互生、心臓形で先がとがり、薄軟、秋に長い柄を茎頭、葉わきから出し小花を多くつける。大形の塊根を有する。

効用 胃腸病・心臓病・腎臓病・月経不順・病後衰弱に塊根を秋に採取し陰干しにし煎服するとよい。

桑科

86 桑>クワギク

生地産状 栽培、自生、落葉高木、樹皮は淡褐色、葉は切れ込みがあり、柔らかい。春、淡黄緑色の単性花を花序につけ、花後、いちごのような実をつけ、紫黒色になり甘味がある。葉は養蚕、樹皮は製紙、材は諸種の用に供す。



桑

効用 消炎性利尿・緩下剤・痰切り・鎮咳剤として根皮を煎服する。葉を煎服してもよい。

ヤナギ科

87 柳

生地産状 水辺、自生、栽培、落葉高木またはかん木、種類が多い。葉は細長い。花は穂状花序で、花後、蒴果をつけ、二裂して冠毛をつけた種子が飛散する。



ヤナギ

効用 神経痛に柳の枝十センチぐらいに切ったものを二握り、松青葉、よもぎの生のものそれぞれ一握りを煎じ温湿布する。

ものをゴマ油で練ったものは皮膚病・火傷などにつけるとよい。

シヨウガ科

89 ショウガ

生地産状 栽培、多年草、地下茎は横に数個の塊となり、黄色で強い辛味を有し、芳香がある。地上茎の下部は赤味を帯び、葉は細長で二列に茎を抱くように着生している。

効用 消化・健胃・痰切り・発汗・暑気あたりには根をおろしがねでおろし、湯に投じて飲むとよい。湿布に用いる。香辛料として食する。



シヨウガ

ラン科

88 シラン

生地産状 山地の湿地などに自生、観賞用に栽培もしている。多年草、鱗茎は丸く白色、数個相連する。葉は四く五枚で広長で基部は茎を抱えている。初夏に花茎を出し総状に紅紫色の美しい花を数個つける。

効用 根茎を煎服すると肺によく、砕いて粉にした



シラン

バシヨウ科

90 バシヨウノ島バシヤク

生地産状 栽培、大型多年草。大きな塊状の根茎から地上に葉鞘が重なり合った茎を二メートルぐらいに伸ばす。夏、長大な花の集まりが下向きにつく。

効用 利尿・水腫・脚気に茎葉を煎服する。根は感冒・胃病・腹痛によい。茎を砕いて氷のう代わりに用いれば解熱に効く。

アヤメ科

91 ヒオウギンビッターノジク

生地産状 自生、栽培、多年生草で、葉は広く剣状で密に互生し、扇状に広がる。夏に花茎を出して枝を分け、黄赤色に赤い斑点のある花をつける。実は黒い球形である。

効用 扁桃炎・痰切り・せき止め・熱さまし・通経に根茎を煎服する。



干した根茎

ヒオウギ

ヒガンバナ科

92 サフランモドキニアミファイバナク

生地産状 栽培、多年草、鱗茎を有し、葉は線形根生、夏、花茎に淡紅色の花を開く。

効用 心臓病・生理不順・かぜに乾燥した花とシソを混じ煎服する。芳香薬の原料になる。



サフランモドキ

93 スイセン

生地産状 海岸近くに自生、観賞用として栽培、多年草、鱗茎を有し、葉は線状で多く、春、花茎に数個の花を開く。白い花卉の中央に杯型さかずきの黄色の花冠をつける。

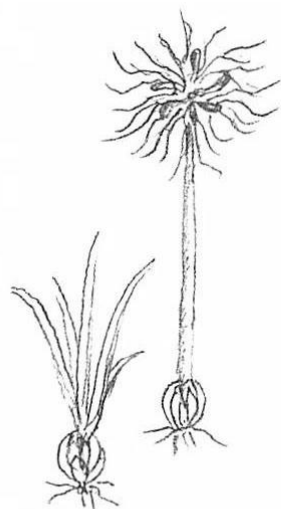
効用 はれ物・肩こり・歯痛・ねんざ・乳房の腫脹ちやうちやうに鱗茎をすりつぶしてつけるとよい。



スイセン

94 ヒガンバナ、別名 マンジュシヤゲ

生地産状 山野に自生、観賞用として栽培、多年草、葉に先がけて鱗形から一本の花茎を出しそれに奇形の花が咲く。六弁が反卷し、めしべ、おし



ヒガンバナ

ユリ科  
95 クサスキカズラ

生地産状 野生、多年草、根は紡錘形をしたのが多数ついている。葉は退化し鱗片状をなし、茎の節につき葉のように見える針状のものは枝の変形

べが糸状に長く出る。鱗茎は有毒である。冬、線状の葉が出て、三月ごろ枯れる。  
効用 鱗茎をすりつぶし、人さし指大の分量を就寝前、両足の土踏まずにはって軽包帯をする。肩こり腎臓病によい。



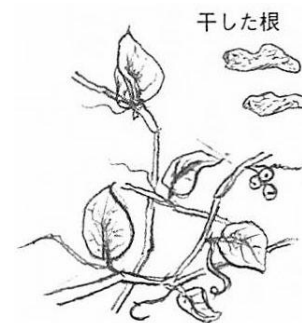
クサスギカズラ

効用 したものである。花は六弁で数個ずつ集まって咲く。

乾燥した根を煎服すると、肺病・ぜんそくなどのせき止め、熱さまし・強壮剤・利尿剤にも用いる。

## 96 サルトリイバラ>サンギラ>

生地産状 山野に自性、つる性落葉かん木、茎は節ごとに曲がり角質のとげがある。葉はだ円形で、葉柄の基部に巻きひげがついている。初夏に黄緑色の花をつけ、雌雄別株でエンドウ大の赤い実をつける。これは生で食べられる。



サルトリイバラ

効用 乾燥した根茎を煎服すると、梅毒・利尿・寝小便・破傷風・はれ物によい。

## 97 ジャノヒゲ

生地産状 山野の日当たりのよい場所に自生、庭園のふちどりとして栽培もされている。多年草で葉



ジャノヒゲ

## 99 ニンニク>ヒトレ>

は細長く、葉辺はざらついている。夏、小さな薄紫の花が咲き、秋に青色球形の種子をつける。効用 滋養、強壮に日干しにした根にはちみつを加えて煎服する。痰切り、吐血にもよい。

## 98 テッポウユリ>ニユイ>

生地産状 栽培、多年草、茎は六十センチぐらいで硬直、葉は細長い、鱗茎は黄白色、四く五月ごろ白色大形の花を数個つけ、長ろうと状で、先端は六裂、香気が高い。

効用 火傷・擦過傷・毒虫刺されに鱗茎をつぶして塗布する。



ユリ

生地産状 栽培、多年草、全草強臭、葉は扁平で細長い、夏、白紫色の花をつける。鱗茎は食用になる。魔よけとして玄関軒下に下げる。

効用 鱗茎をすりおろすか、焼くか、煎じて食用すると、整腸・寄生虫駆除・健胃・利尿・強壮・疲労回復・発汗・冷え症・暑気あたり・魚毒消し・不眠症・コレラにも効くといわれている。



ニンニク



100 ヤブラン

生地産状 山野の陰地に自生、葉は地下茎の先から出し、深緑色、線形、扁平、秋に薄紫色の多数の花をつける。

効用 根塊を一日十グラムを煎剤とする。せき止め・痰切り・熱さまし・心臓・肺病・腎臓に用いられ、滋養強壮、母乳促進にも効く。



ヤブラン

101 ツユクサ

生地産状 野生、一年草、葉は細長く、先がとがり、

【ツユクサ科】

102 カラスビシャク

別名 ハンゲ

生地産状 野生、多年草、春、地下の塊茎から茎を出し、三小葉をつける。夏、紫緑色の円筒状の大

【テンナンショウ科】

基部は広くさやになっている。夏、二弁の青色の花が咲くが、一日でしぼむ。  
効用 全草を乾燥させ煎服する。解熱・便秘・はれ物・脚気・下痢止めによい。はれ物の痛みには茎葉をもんではるとまゐる。



ツユクサ



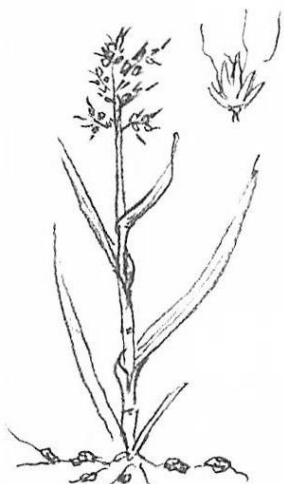
カラスビシャク (ハンゲ)

104 ハマスゲ>ホブシク

【カヤツリグサ科】

生地産状 畑地に自生、葉は狭長でさやをなし、深緑色で硬い。夏、茎頂が分かれ、茶褐色の花をつける。地下茎は横走し、所々塊根をつけ、それ

効用 葉柄も長い。地下茎は多肉で球形、芋の一種で食用になる。  
効用 はちに刺されたとき、葉汁をつけるとよい。



ハマスゲ

103 里芋>サトウイモ

生地産状 栽培、多年草、葉は根生し、長大な楕形で

きな苞を生じ内の花穂に白い雌雄の花をつけ、花軸の先は細長く苞外に突き出す。塊茎は球形。有毒植物で薬になるのは塊茎だけ。

効用 つわりの妙薬として、球根とショウガを煎服する。他のはき気止めにもよい。フリダシの原料になる。切り傷の血止めにつぶしてつける。乾かし粉末にしたものを飯粒で練って手足のまめにはると治る。海藻、餡類との併食は忌む。



を香付子という。

効用 通経・鎮痙・ぜんそく・痰切りに塊根を一日六グラム煎服する。止血・ウルシマケにもよい。

### イネ科

#### 105 ジュズダマ・シンシダマ

生地産状 畑地などに自生、多年草、群生、初秋に葉わきから花穂を出し、淡紅色の花を開き、卵形の堅い実をつける。実は数珠に用いる。

効用 リウマチ・神経痛・肩こりに根を煎服する。



ジュズダマ

#### 106 ハトムギ

生地産状 栽培、ジュズダマの変種で、種子が軟らかい。

効用 果実は米に混ぜて食すると、滋養になり、強壮・健胃・利尿によい。実を粉にしたものを湯で溶いて服用すればリュウマチによい。実を煎服すれば脚気・痛風によい。根を煎服すれば、脾臓ひざうの病、通経によく、いぼとりにもなる。

#### 107 ススキ・ヲウバナク

生地産状 野生、多年草、毎年宿根から新芽を生じる。

葉は線状で先がとがる。秋、茎頭に銀白色の花穂がつく。尾花と称し、秋の七草の一つ。



ススキ

効用 風邪の解熱に根を煎服する。

#### 108 チガヤ・マヒヤク

生地産状 野生、群生する。多年草、春、褐色の花穂をつける。これを「ツバナ」といい、なめると甘い。初夏になると銀白色のススキを小型にしたような花穂になる。葉は線状で先がとがり、根は横走して繁殖する。

効用 根茎を日干しにし煎服すると、利尿・止血・消炎・むくみなどによい。

#### 109 トウモロコシ・トキキ

生地産状 栽培、一年草、葉は長大で先がとがり、基部はさやになっている。夏に雌花は各節の葉鞘間に生じ、赤紫色の毛髪状をした花柱を出し、雄花群は茎頭に長い穂状をなす。果実は扁円形の粒が多く紡錘状につく。でんぷんが多く、食糧や家畜の飼料にする。

効用 利尿・急性腎炎・妊娠時のむくみに、毛を日干しにしたのを煎服する。

### ガマ科

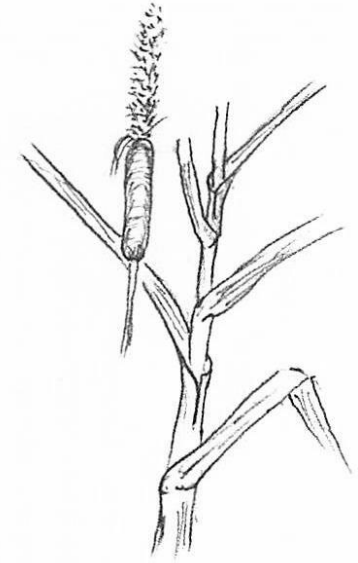
#### 110 ガマ・ハバーク

生地産状 水辺湿地に自生、多年草、葉の基部はさやになり茎を包む。夏、花をつける。下部は雌花で緑褐色でピロッド状になっており心皮からできているが内部は長い綿毛が多い。これをふとの心に入れたり、これに油を注いでろうそくに代用、また火くち（フクチ）の料とした。上部はおしべ群が密生し、花糸は細長く、基部に腺毛あり。

効用 「がまのほ」は止血によい。



トウモロコシ

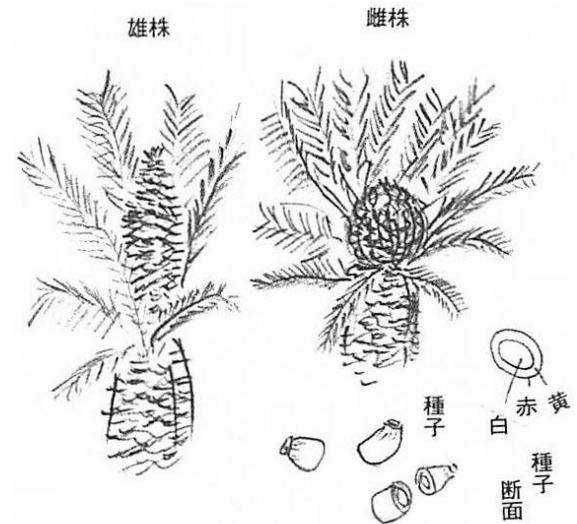


ガマ

111

ソテツ科  
ソテツ・ストウチク

生地産状 自生または栽培、常緑樹、幹の頂端に硬い長柄羽状複葉を群生する。小葉は線形で先はとげのようにとがっている。雌雄異株で、幹の頂端葉間に咲き、雄花は長だ円形で松かさ状の花穂を出し、雌花は丸く重なり合って大形の花穂をなし、おしべは羽裂した葉状をなし、褐色の綿毛を密生する。種子は卵形で朱赤色である。



ソテツ

効用 通経・せき止め用として秋に種子を割り、風通しのよい所で充分陰干しにして煎服する。創傷には生の汁をつけてもよい。

◎ 追 補

112

ユリ科  
アロエ・インシヤイラス

生地産状 栽培、葉は多肉で剣状、葉の縁には硬くて鋭い歯状のとげがある。  
効用 葉汁は創傷・はれ物によく、青葉に白湯をかけて飲むと、熱さまし・胃腸病・腹痛に効く。生葉を水洗いして食べてもよい。



アロエ

113

イネ科  
竹・デヘー

生地産状 自生、栽培、種類が多い。  
効用 破傷風に青竹をあぶって出る汁をさかずき一杯飲むか、根茎を煎服しても効く。

114

マメ科  
ミソナオシ

生地産状 山地に自生、落葉小木、葉は細長く先がとがっている。三小葉で羽状複葉、夏の末、蝶形で浅黄を帯びた白色の小花を総状につける。落花生の花と似ている。五〜六節のさや果を結ぶ。  
効用 古来、葉をみそのうじ殺しに使ったのでミソナオシの名がついた。別名ウジコロシ、ミソクサともいう。殺虫剤、便所に全草を入れうじを殺す。

紅藻類

115 マクリンミジモイ

生地産状 海中、円柱状で高さ十センチぐらい。強靱で不規則に分枝し、黒紫色で乾燥するとやや樺色に変ずる。

効用 回虫駆除、えい児の胎毒下しに用いる。



ミソナオシ

色五弁の小花を葉のつけ根に開く。果実は秋に成熟し、果肉は乳白色からピンクで甘くて食用になる。中心に小さな堅い種子が多い。

効用 糖尿病・高血圧症に未成熟の果実を皮つきのまま輪切りにし、乾燥後煎服する。葉は新葉を摘み取り茶を製して常時飲用する。葉を乾燥させ煎服するといっそう効力がある。

フトモモ科

116 バンジロー、バンシル

生地産状 自生、栽培、常緑小高木、樹皮は褐色で光沢があり、滑らか、葉は楕円形、花は初夏に白



バンジロー

五 結 び

物図は谷元義男画である。

以上薬用に供される植物に就いて述べてきたが、またこの外にも薬用価値のあるものがあるであろう。

薬用植物の中でも製薬の原料となるものや、単に習慣上薬草とされて用いられているものもある。従ってそのすべてが効能書通り、てきめんに効くか否かについては遺憾ながら言明の限りではない。進歩した現在の科学薬品においてさえ人により体質によって、その効験が多少の違いではあるうが異なるときいている。ましてや薬草においておやである。

これらのことについては今後の学術的研究に待たねばならないであろう。

なお、時代とともに薬草がかえりみられなくなり、忘れ去られ、更にこうした薬草のほとんどが雑草のために土地改良普及により除去され、さしえを画くに当り古老を訪ね田野を廻ったが、おおかた消滅していることも事実である。

永吉毅氏「郷土の薬用植物」を転記したもの、薬用植